

7月1日付

# 国内コロナ感染15万人超

## 30府県最多、第7波急拡大

国内で二十日に報告された新型コロナウイルスの新規感染者が十五万三千五百三十六人となり、一日当たりの過去最多を更新した。オミクロン株の新たな派生型「BA・5」への置き換わりによる流行「第七波」の急拡大が止まらない状況

だ。沖縄では、県立中部病院(うるま市)が医療体制の逼迫から救急外来などを停止する。これまでの過去最多は十六日の約十一万六百六十人だった。『新型コロナ関連②⑩面』大阪一万一千九百七十六人、神奈川一万一千四百四

三人、愛知一万三千六百

十三人、愛知一万三千六百

十八人など三十府県で過

去最多となった。大阪は過

去の計上漏れ九千三百人を

含み約一万六百人が報告さ

れた二月八日を除き、同十

一日の一万五千二百九十一

人が最多だった。表記的な

二万人超えは初めてで、吉

村洋文知事は「医療現場は逼迫している」と述べた。

東京は一万四百一人で、二万人を超すのは二月五日以来。病床使用率は43・5%だった。

政府は新規感染者数に加えて医療提供体制の逼迫程度を重視。内閣官房が公表した都道府県別のコロナ患者向け病床使用率(十九日時点)によると、沖縄が74%

%で最も高く、熊本65%、和歌山59%、滋賀57%、島

根53%と続いた。松井博一

また総務省消防庁は、救

急車の到着後も搬送先がすぐ決まらない「救急搬送困難事案」が、十一・十七

呼吸困難などコロナ感染が疑われるものは千五百九十六件で、前週から87%増加した。

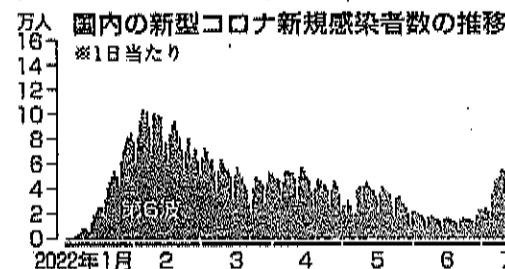
沖縄県は二十日、激しい感染拡大と医療従事者の欠勤の増加を受け、地域中核

病院の県立中部病院で、入

院の必要がない患者の救

急外来と、全診療科の一般

外来を停止すると発表。本人や家族の感染で多数の医療従事者が欠勤し、医療体制が逼迫しているとした。



見で、緊急事態宣言など新たな行動制限を行わない方針を改めて示した。

沖縄県は二十日、激しい感染拡大と医療従事者の欠勤の増加を受け、地域中核病院の県立中部病院で、入院の必要がない患者の救急外来と、全診療科の一般外来を停止すると発表。本人や家族の感染で多数の医療従事者が欠勤し、医療体制が逼迫しているとした。

また総務省消防庁は、救急車の到着後も搬送先がすぐ決まらない「救急搬送困難事案」が、十一・十七

呼吸困難などコロナ感染が疑われるものは千五百九十六件で、前週から87%増加した。

消防で計四千四百三十九件あったと発表した。このうち

